



弟子たちを立ち上がらせた 十字架と復活の意味

ユダヤ人にとってもっとも重要な祭、「過越の祭」の直前に、世界中から集まったユダヤ人が見守る中で、イエスは確かに息を引き取りました。厳しい拷問のあと、「ユダヤ人の王」という罪状書きが掲げられた十字架の上で、ぼろ布のようになって死んでいったのです。彼の弟子たちは、突然先生が逮捕され、処刑されたことに当惑し、人々の目を恐れてひそんでいました。この時に、誰が世界の果てまで彼の名が伝えられると想像したでしょうか。

ところが、彼が死んで3日目に驚くべきことに彼は復活し、隠れていた弟子たちの前に姿を現したのです。当初は何が起こったかわからず当惑していた弟子たちですが、イスラエルの歴史と深くかかわるイエスの死と復活の深い意味を知ります。そして立ち上がって、迫害に耐えながらそのメッセージを語り、その多くは殉教しました。そして今、世界の先進国で「イエス・キリスト」を知らない人はほとんどいません。

聖書の究極のメッセージである、十字架と復活の意味をともに学びましょう。

日時: 12月17日[木] 7時～8時30分

場所: 京都アスニー (3階第3研修室B)

無料です。どなたでも自由にご参加ください。

聖書がはじめてでも、なるべくわかりやすくお話しします。
聖書やキリスト教への疑問や質問にも、出来る限りお答えします。
つづけて参加すると、聖書と世界の流れが見えてきます。
聖書が教えている、より良く生きる力についてお話しします。

はじめての聖書に学ぶ会

www.skk-kyoto.com

主催: 聖書研究会京都集会
連絡先: 075-462-8294(坂本)